

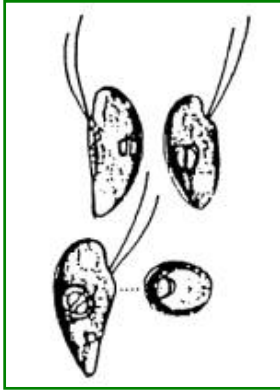
# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第4報 ～

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成15年4月28日

## 1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



*Rhodomonas* sp.  
(ロードモナス)  
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。  
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。  
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、先週に引き続き小型のロードモナスが最も多かった。淡水赤潮の原因となるウログレナ (*Uroglena americana*) は、約60細胞のものが1群体/ml見られたが、これは例年に比べて遅い出現である。動物プランクトンは前回までの太陽虫に代わり、ハネウデワムシやスナカラムシが多かった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	350

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	240

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年4月28日

第4報

(網) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	60		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	9		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	50		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	30		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	60		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	4		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	30		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	49		
(珪) <i>Synedra acus</i>	4		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	30		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	300		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	440		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	4		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	209	19.4	9.0
(珪) 珪藻綱	97	9.0	6.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	30	2.8	1.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	740	68.5	83.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	4	0.4	0.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1080	総体積	6.99E+05
種 類 数	14	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。